

# 浮金小だより



発行：平成30年12月21日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

## 冬休みを有意義なものに…



お陰様で、2学期も無事に終わることができました。これも保護者の皆様を初め、ご家族、地域の皆様の学校に対するご理解とご協力あってのことと、改めて感謝申し上げます。さて、冬休みは年末年始の行事等もあり、家族・親類・地域の方々とふれあう機会が多くなると思われます。子どもたちにとって様々な人とのふれあいは、自己の成長を感じたり、新たな自分を発見したりする機会ともなりますので、積極的に行事等へ参加されるとよいと思います。是非、有意義な冬休みをお過ごしください。

## 子ども見守り隊の皆さん ありがとうございます



子どもたちは、2学期間、事故もなく元気に登校することができました。毎日のようにお世話になっている、子ども安全見守り隊の皆さんに感謝申し上げます。その気持ちをお伝えするため、全児童で色紙に寄せ書きし、14日の登校時にお渡ししました。児童の感謝の言葉をいくつか紹介しましょう。

いつも気軽におもしろい話をしてくれて、私はいつも元気にいられます。

朝、重い荷物があるとき声をかけてもらいありがとうございます。

「行ってらっしゃい」とハイタッチをすると、今日も頑張ろうと思います。

バスがきたとき「来た！」と教えてくれてありがとうございます。

これからも登校を見守ってください。ほくも元気にあいさつします。

毎朝握手をしてもらってうれしいです。



小野町立浮金小学校2018



小野町立浮金小学校2018

いつも笑顔で「おはよう」と言ってくれて、ほくは元気に登校できました。

## 土曜授業 15日 ~授業参観日・学年懇談会~



本年度2回目の土曜授業を、授業参観・学年懇談を組み入れて実施しました。多くの保護者の方に参観いただきありがとうございました。

1年：生活科「クリスマスかざりをつくらう」



写真を見ながら、2学期の子どもたちの様子を振り返りました。アサガオのつるを使ったリースづくりはうまくいきましたか。

3・4年：道徳「ぼくの生まれた日」



家族のよさについて考えたり、これからの生き方について考えたりしました。お手紙の準備をありがとうございました。お子さんからのお手紙はいかがでしたか。

2年：生活科「たんけんしたことをつたえよう」



牧場を見学し、聞いてみて分かったことや体験したことがたくさんありました。チームごとに大きな模造紙にまとめ、発表会を開きました。

5・6年：体育科「体づくり運動」



親子で体をほぐす運動や体力を高める運動に取り組んでもらいました。極寒の体育館で申し訳なかったのですが、少しは温まりましたか。

## 小野町子ども議会に行ってきました。

18日、町役場議場にて小野町子ども議会が開かれました。町内4小学校の6年生全員が参加し、本校からは子ども議会議長役として村上遥希さんと一般質問をする子ども議員として石井萌々果さんが選ばれ、4名は傍聴席に座りました。

萌々果さんは、「健康長寿で温かい町にするために」という内容で質問し、本校閉校後の校舎等を総合スポーツ施設としてはどうかと提案しました。質問書が手元にあるとはいえ、大変落ち着いた態度での立派な質問でした。



また、遥希さんは、議長として一段高いところに座り緊張する中でしたが、終始落ち着いて議事を進行することができました。最後の議長あいさつでは、議場に集まった小野町の6年生に向けて、「何年後になるか分かりませんが、いつかまた小野町について考えるときが来るはずですよ。そのときは、大好きなふるさとである小野町について、また一緒に考えていきましょう。」と締めくくりました。

6年生にとって、とても貴重な時間でした。自分の今後の生き方を考えるきっかけとなるといいなと考えています。



### 校長室より

#### 【2学期始業式での校長の話】

『自分は〇〇がよくできている』と思い込んでいないかな?』と問いかけた。自分でできていないことに気づく人は伸びる人だ。できていないことを自分できちんと見つめよう。

学校だより第6号(7/20発行)で、あいさつができていないことについて書きました。そこで、あいさつを例に2学期を振り返ってみます。

- 2学期が始まり、しばらくの間、短い距離ではあるが登校班と一緒に歩いた。あいさつができていないときは、「元気よくもう一度あいさつしよう」と一緒にあいさつすることを繰り返した。すると、登校中に出会う地域の人にも、元気にあいさつする姿が増えた。
- 研修で先生方がたくさん来校されたとき、「こんにちは」と元気に言える子がたくさん見られた。
- 下校途中の5・6年生。信号機のない横断歩道で止まってくれた車にきちんと一礼をしていた。

他にもありますが、あいさつがよくできている姿が多く見られるようになりました。勿論まだまだできていないところがありますが、心を育てるためには、できていることは「できてるよ」と認めてあげることが大切だと考えています。

#### 【12月3日の全校集会での校長の話】

登校時には、見守り隊の方が後ろに必ず付いて歩いてくださる。ところが、子どもの行動を見てみると肝心な態度が見られない。「おはようございます」は元気にできている。子どもたちに気づかせるために登校時の映像を繰り返し見せた。答えは与えず、一人一人考えるように話をした。

以前から気になっていました。毎日見守り隊の方にはお世話になっているのですが「ありがとうございました」の一言がありません。最後尾から見守っ

ている見守り隊の方を背中にして、そのまま校舎に入っていくのです。子どもたちは「あいさつがよくできている」と思っています。私は、まだできていないことに気づかせたくて映像を見せたんです。すると、全校集会後にすぐ6年生が反応しました。「校長先生、明日からやります。」と言いに来たのです。あえて何をするかは聞きませんでした。他の学年の子も「校長先生、分かったよ。」と次々と言いにきました。

翌朝、いつものように私は学校前の信号機の所に立ちました。正直なところ、子どもたちの姿を見るのを楽しみにしていたのです。最後の班が信号を渡り、私はいつものように、その班の最後尾に付いて見守り隊の方と歩きます。班長が笛を吹いて学校前の道路を横断すると、いつもと違った姿が見られました。その班の子どもたち全員が後ろを向いて「ありがとうございました」と頭を下げていました。

5つの登校班がありますが、まだまだできていないという班もあります。できていないことに気づかせて、当たり前のようにできるよう今後も指導していきます。ちなみに、子どもたちは見守り隊の方に感謝の気持ちはもっています。色紙に書いた寄せ書きを見ればよく分かります。感謝の気持ちを行動で示すことができていなかったということです。

18日の朝、飯豊駐在所の坂口さんも信号機の所に立ってくださいました。気温も低かったのですが、風があったので余計に寒く感じる朝でした。私もぶるぶると震えていたのですが、一人の3年生の女の子がとった行動でほっこりしました。「おはようございます」と、元気にあいさつしながら信号を渡り終えたとき、その女の子は後ろを振り返って「ありがとうございました」と坂口さんにあいさつしたのです。「行ってらっしゃい」と返す坂口さんもニコニコでした。何とも心地よくて心のこもったあいさつでした。

それでは皆さん、良いお年を。

